

日経 **CONSTRUCTION** NIKKEI CONSTRUCTION

2005 10-28



トピックス 微細なひび割れを直す新手法

ズームアップ

PC箱桁橋を196のブロックに切断

勝算あり! 地方の生き残り策

排水工法を看板技術に据えて起業

地方から始まる公共事業改革

県がリサイクル材の品質を保証して工事で活用

海外トピックス

ハリケーンで決壊した堤防の過小設計が問題に

特集

頼られる 土木技術者の条件

社外が評価する現場へのこだわりとプロの技術力



アサヒテクノ

(岩手県北上市)

排水工法を看板技術に据えて起業 海外受注も加わり完工高が倍増

地下水の排水工法を開発した矢先に、会社が倒産。

開発した工法を武器に元社員が集まって、専門工事事務所を設立した。

実績を重ねるうちに評価が高まって、アジアからの受注にも成功。

いまでは、排水工法を応用した環境事業など新規事業の開拓も視野に入ってきた。

地 地下水の排水工事を専門とするアサヒテクノは、「スーパーウエルポイント工法」を武器に業績を伸ばしている。2005年7月期の完工高は6億2700万円と、前年同期の2.6倍になった。

同工法は地下に埋めた揚水井戸に管を通し、内部の空気をポンプで吸引しながら真空状態に近づけて揚水

する。大気圧を利用できるので、従来の工法に比べて揚水効率が高い。土質に応じて異なるものの、揚水量は従来の工法に比べて1.2倍から数十倍に達する。そのため、30～40mの大深度からの揚水も可能だ。広い範囲で地下水を揚水できるので、井戸の本数が減り、工期や工費を削減できる。

弁護士の勧めで起業を決意

この工法は1998年1月、アサヒテクノの高橋茂吉社長が、中開基礎工業（本社、東京都千代田区）の東北支店長を務めていたころに開発したものだ。開発直後に盛岡市が発注したプールの建設工事をはじめ、計3件の工事で採用されるなど、出足は好調だった。

ところが、受注した工事に着手しようとした矢先の98年2月、中開基礎工業が破産した。

開発した工法を埋もれさせたくないが、個人では工事を受注できない。高橋社長は、こうした思いを抱えながら残務処理をこなしていた。そんなときに、破たん処理にあっていた弁護士に、開発した技術があることを話してみた。すると、「独立しなさい」と思いがけない答えが返ってきた。

弁護士の勧めで、高橋社長はがぜんやる気になった。中開基礎工業の盛岡営業所に勤めていた社員と酒を酌み交わしながら「一緒にやろう」と誘ってみた。盛岡営業所の社員を選んだのは、高橋社長が以前、同営業所の所長を務めていて顔見知りだったうえに、盛岡の社員が再就職先探しに苦労していたからだ。

最初は勇ましかった人も、具体的な起業の話になると及び腰になり始めた。それでも、高橋社長はあきらめずに電話で一人ひとりを説得。5人の社員を仲間に引き込んだ。

社長を含めて6人のメンバーが集まったものの、高橋社長らには起業する資金がない。そこで、すでに工

法の採用が決まっていた盛岡市のプールの建設工事など3件の現場で、排水工事を知り合いの地質調査会社に受注してもらった。そして、6人はその会社から業務を請け負って資金をため、9カ月後の98年11月、会社の設立にこぎつけた。

起業したものの、実績が乏しかったので、受注は容易でなかった。「社長が営業に回る間、われわれがつてを頼って小規模の工事を受注しながら食いつないだ。失業保険をもらった人もいた」と、高橋初隆工事部部長は当時の苦労を振り返る。

評判が広がり実績が100件超に

手作りのカタログを手に、全国の建設会社や自治体を回る高橋社長の必死の営業によって、少しずつ受注を獲得できるようになった。そして、受注した工事で期待通りの成果を上げ続けた結果、工法の評判は高まった。いまでは、施工実績が100件を超え、台湾やシンガポールで施工する国内の大手建設会社から仕事の依頼を受けるようになった。

スーパーウエルポイント工法の特許は、盛岡市のプールの建設工事で元請けを担当した西松建設と共同で申請。アサヒテクノらは2001年に特許を取得した。ほかにも、アサヒテクノはこれまでに二十数件の特許を出願。2005年9月末時点で合計9件の特許を取得している。

なかには、地盤改良や土壌浄化の工法など、これまでとは違う工事の受注を可能にする技術も少なくない。中国の清華大学とは、砂漠で地下水をくみ上げて緑化する方法など



高橋茂吉社長（左上の写真）は、営業活動や学会、建設現場など国内外を飛び回る。右上は高橋初隆工事部部長。小坂邦興工事部次長は、「現場ごとに解決すべき課題が生じている」と語る

（写真：左と下の社屋の写真は原 武雄）



秋田県角館町でスーパーウエルポイント工法で施工した現場（右の写真）。下は男鹿市で排水機場を建設する工事で同工法を利用している様子

（このページの写真：特記以外はアサヒテクノ）



DATA



会社概要

所在地 ● 岩手県北上市 従業員 ● 15人
 設立 ● 1998年 資本金 ● 600万円 売上高 ● 5億1769万円(2005年7月期) 経常利益 ● 5727万円(同) ホームページ ● <http://www.vijp.com/asahi/> 本社は高橋社長の実家をそのまま使用している。建物は築50年以上で、屋内は畳敷きだ

を共同で研究している。いずれも真空を応用したもの。本業の成長に加えて、新技術による将来の市場開拓もにらんでいる。

（原 武雄＝フリーライター）

●過去の掲載記事●

- 4月22日号 T&日本メンテ開発(山形県酒田市)
- 5月27日号 馬原造園建設(宮崎市)
- 6月24日号 菅野組(北海道丸瀬布町)
- 7月22日号 館ヶ崎建設(福島県国見町)
- 8月26日号 明大工業(大分県別府市)
- 9月23日号 泉建設(富山市)